

# 4 気 象 (平成23年1月～12月)

**1月：**ほぼ全期間をとおして西高東低の冬型の気圧配置となり、都心部では乾燥した晴天が継続した。このため、東京（大手町）では月間日照時間が243.9時間となり、統計開始（1891年）以降、1月として最多となった。気温は都内全域で低く経過した。東京の月平均気温は低く、月間日照時間はかなり多く、月降水量はかなり少なくなった。

**2月：**冬型の気圧配置は持続せず、本州付近を次々と通過した低気圧の影響により、天気は短い周期で変化した。上旬と下旬は強い寒気の流入がなく気温は高めだったが、中旬に一時的に気温が下がったため、月間の気温の変動は大きくなった。14日は関東南岸沿いを進んだ低気圧の影響で東京（大手町）では2cmの降雪を観測した。また、18日は発達した低気圧が関東地方を通過したため、東京（大手町）では24時間降水量が76.5ミリとなり、統計開始（1971年）以降、2月として最多となった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間は平年並、月降水量はかなり多くなった。

**3月：**冬型の気圧配置となる日が多く、中旬に日本海の低気圧に向かって南から暖気が入り一時的に気温が平年より高くなった日もあったが、概ね月をとおして気温は低く経過した。また、上旬後半と下旬初めに関東南岸沿いを通過した低気圧による雨がもあったが、それ以外に大きな天気の崩れはなく、乾燥した晴れの日が多い月となった。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間はかなり多く、月降水量は少なくなった。

**4月：**一般的に移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。平均気温は一時的に低くなる日もあったが、概ね月をとおして平年並となった。東京（大手町）の月平均気温は平年並、月間日照時間はかなり多く、月降水量は少なくなった。

**5月：**月の中頃は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、一般的に低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に29日は台風第2号や梅雨前線の影響で大雨となった。なお、関東甲信地方は27日ごろ、平年より12日、昨年より17日早く梅雨入りした。東京（大手町）の月平均気温は平年並、月間日照時間は少なく、月降水量はかなり多くなった。

**6月：**梅雨前線や暖かく湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れたため暑くなった日があり、29日は東京（大手町）で日最高気温35.1℃の猛暑日を記録した。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間と月降水量は少なくなった。

**7月：**月の初めは本州付近に梅雨前線が停滞したが、前線の活動は弱く、関東甲信地方は9日ごろ、平年より12日、昨年より8日早く梅雨明けした。その後、17日までは高気圧に覆われたため晴れの日が続いたが、18日以降は台

風第6号や停滞前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に19日は台風第6号の影響により日降水量が100ミリを超える大雨となった所があった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間は多く、月降水量は少なくなった。

**8月：**太平洋高気圧の勢力の変動が大きく、上旬中頃から中旬中頃にかけては太平洋高気圧に覆われたため晴れて気温が高くなったが、上旬のはじめはオホーツク海高気圧の影響、中旬終わりから下旬にかけては上空の寒気や本州付近に停滞した前線の影響で気温が低く経過した。また、下旬は前線や湿った気流の影響で大気の状態が不安定となり、曇りや雨の日が多かった。東京（大手町）の月平均気温と月間日照時間は平年並、月降水量は多くなった。

**9月：**上旬は台風第12号や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。中旬は太平洋高気圧に覆われたため晴れて気温が高くなり、13日は練馬で34.3℃の日最高気温を観測した。21日は台風第15号の影響により八王子で南の風43.1m/sの日最大瞬間風速と200mmの日降水量を観測するなど大荒れの天気となったが、その後は移動性高気圧に覆われて晴れの日が多かった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間はかなり多く、月降水量は多くなった。

**10月：**低気圧と高気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。月の初めは気温が低くなったが、中旬以降は夏日となる日もあり、気温の変動が大きかった。東京（大手町）の月平均気温は高く、月間日照時間は平年並、月降水量は少なくなった。

**11月：**中旬まで天気は概ね数日の周期で変わったが、下旬は冬型の気圧配置となり晴れの日が多かった。19日は低気圧が発達しながら日本付近を通過したため大雨となった。また、月を通じて暖かい空気に覆われ気温が平年を上回った日が多かった。東京（大手町）の月平均気温はかなり高く、月間日照時間は平年並、月降水量は多くなった。

**12月：**月のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に3日は前線を伴った低気圧が関東地方を通過したため、都内各地で大雨となった。その後は冬型の気圧配置が続き、晴れの日が多かった。また、月の後半を中心に寒気の影響を受けたため気温が低くなり、小河内と青梅では16日から31日まで、八王子では17日から31日までそれぞれ冬日（日最低気温が0℃未満の日）が継続した。東京（大手町）の月平均気温は低く、月間日照時間と月降水量は平年並となった。

(調査：東京管区気象台)

## 気温・降水量（平成23年）

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
月平均気温	(°C)	3.9	6.1	7.5	14.2	18.3	22.9	27.6	27.4	24.8	18.6	13.4	5.9	15.9
平年値	(°C)	4.6	5.4	8.6	14.1	18.6	21.9	25.7	27.2	23.2	17.4	11.8	7.0	15.5
月平均最高気温	(°C)	9.2	11.5	13.0	19.9	23.1	27.1	32.5	32.2	29.4	22.9	17.9	10.5	20.8
平年値	(°C)	9.8	10.5	13.8	19.6	23.8	26.5	30.4	32.1	27.6	21.9	16.7	12.2	20.4
月平均最低気温	(°C)	-0.4	1.9	2.6	8.8	14.3	19.4	23.9	24.0	21.2	15.2	9.8	2.1	11.9
平年値	(°C)	0.4	1.0	4.0	9.2	14.1	18.1	22.1	23.7	19.9	13.8	7.8	2.9	11.4
月降水量	(mm)	1.5	136.0	72.0	75.0	259.0	133.0	66.0	280.5	234.0	123.5	107.5	65.5	1553.5
平年値	(mm)	51.0	58.3	115.9	124.0	134.0	164.1	168.6	181.4	222.1	189.7	90.3	49.9	1549.1

注：（1）観測地は、東京管区気象台練馬地域気象観測所（練馬区豊玉上）。

（2）項目の「平均」は、一日の平均気温、最高気温、最低気温をそれぞれ年または月で平均した数値である。なお、一日の平均気温は毎正時（1時から24時）の気温を合計した値を24で割った値である。

（3）項目の「平年値」は昭和56年～平成22年の30年間の観測値を平均した数値である。

調査：東京管区気象台